

そよかぜだより

2008
9月号

そよかぜ歯科医院の URL
<http://soyokaze-dc.com/>



夏もあとという間にもう終わりですが、グッと寒くなった
り、また暑くなったり、雷雨が続いたり…と不安定な毎日
ですね。

でも、今年の夏は本当にとても暑かったですね。外に出る
と、肌がとても痛いくらいでした。

と「もう今年のは例年より暑い」という言葉、夏に限
らず、なんでもかんでも「今年のは例年より」と毎年聞
いている気がするの私だけでしょうか？「また今年も？」
と毎回思っています。

環境汚染による異常気象…。こうして実際に体感する
と、地球環境がとても心配になってきますよね。

最近よく耳にするようになった言葉「IT」。きちんと取り
組まなければならぬ、と感じますね。



一言メモ

Ci フラークチェッカー

一目で、磨き残しがわかる！！



使い方はカンタン。綿棒に液をしみ込ませて
歯に塗布するか、うがいをするだけ。

汚れが赤く染色されるので、磨き残しなどが
一目で確認できます。

赤く染色されることで、どこが磨けていない
のかがわかるので、歯の健康維持とともに、
正しい歯磨き法が身につきます。

小児にも使用しやすい味と、キシリトールが
配合されています。

小さなむし歯の治療法

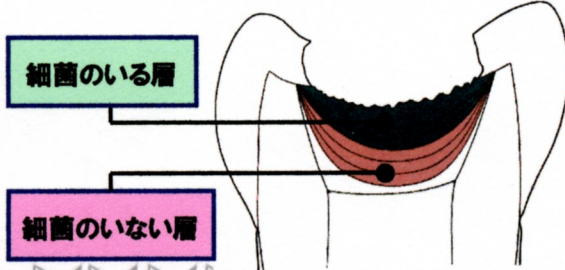
今回は、**う蝕第二層(神経まで達していないむし歯)**について
のお話です。1月号からお話ししたように、むし歯は細菌(ミュータ
ン菌)と色々な要素が重なってできますが、実は**むし歯は、二層**
の層に分けることができるのをご存知ですか？
むし歯は、歯の表面側が**細菌の多い第一層**、その内側の深い部
分が**細菌の少ない第二層**と分かれているといわれています。

第一層は細菌が多いので、治療ではまず**この層を除去**します。
この層は痛みを感じない場所、歯質はとも軟らかいので、専
用の機械の他に手用の器具でも除去することが可能です。この層
は、取り残すと細菌が沢山いるので、むし歯はドンドンと進み、
神経(歯髄)まで到達してしまつと痛みが発生してしまいます。

第二層は細菌の影響を受けている部分ですが、細菌自体はい
ません。よって**削らずに残すことが可能**です。小さなむし歯ならこ
の方法で第一層を除去後、樹脂を詰めて完了です。

しかし、むし歯が広く大きい場合
は、金属を被せる事もあります。金
属に十分な強度を持たせるために、
この治療の場合には第二層も削りま
す。しかし第二層は痛みを感じるの
で、局所麻酔してから専用の機械
で歯を削っていく事になります。その
後、型を取り、最終的には金属を被
せるという治療法です。

このように、むし歯が小さければ、
処置が簡単で済みます。
痛みのない早い段階でむし歯を見
つけ簡潔に処置できるよう、**定期的
なチェックが大切**と言えます。



お月見

今月の豆知識

空気が乾燥している為、月が鮮やかに見えることと、湿気も低く
夜でも寒くないことから、9月が最も適しているんです。

縁側など月の見える所にススキを飾り、月見団子や芋や豆や栗を盛
って御酒を供える…。

とっても風流で日本古来からの行事、という感じがします。
でもこの行事は実は中国から伝わったもので、日本より盛大に祝う
ようです。月見団子も、中国の月餅が変化したものなんですよ。
また、韓国でも月見の習慣があり、なんと！勤めも休みになって、帰
里で親族とともに松餅というものを作って祝う盛大なお祭りだそう
です。なんだか日本古来の素朴な行事なようなのに、
意外ですよ。



院長より

今回は、一般的に行われる小さなむし歯の処置とその治療の際
に、こうして局所麻酔がなくてもよい場合(そうでない場合がある
のが、お解かりになったかと思えます)。

前途にもまとめたように、今は昔のむし歯の治療とは異なり、む
し歯の治療時に必ず局所麻酔をする、という時代では無くなって来
ています。また、強力な表面麻酔(シールタイプなど)の開発や、
局所麻酔の注射針の開発により、注射時の痛みなどもかなり軽減さ
れています。しかしながら、むし歯においても早期発見、早期治療
あるいは予防が第一となります。定期健診、メンテナンスは非常に
重要です。

今回は局所麻酔がなくてもよい場合のむし歯の処置について、更
に深く掘り下げ、一体むし歯を除去したあとはこのようなもので治
して行くのかなどをまとめる予定です。

そよかぜだよりに対する疑問や要望がありましたら、当医院の
スタッフにお気軽にお伝えください。季節も秋に入り、美味しい季節
の食を楽しめるように、歯をはじめとして身体の健康管理にはくれ
くれもお気をつけください。